Q まちづくりって何だろう?

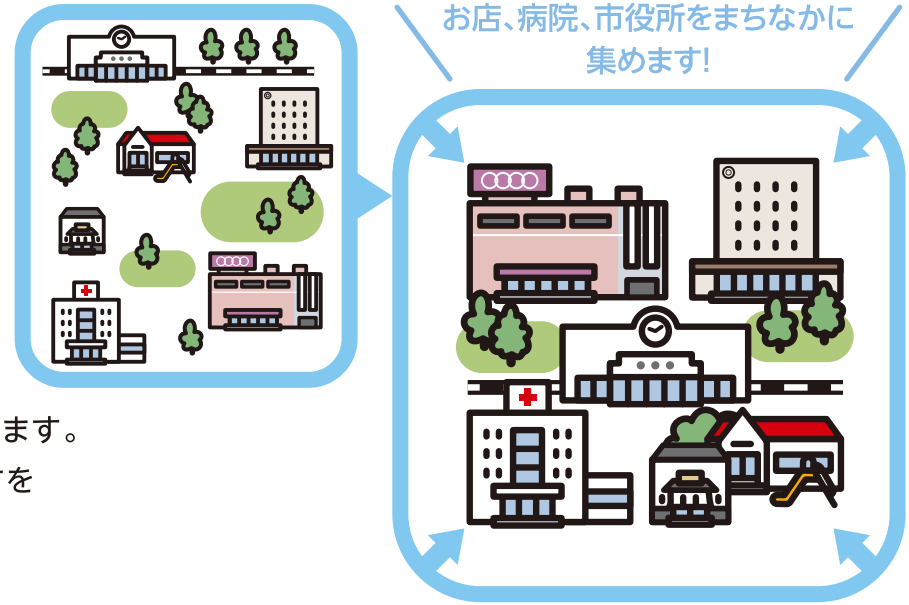
A 今ある快適で便利な「まち」がずっと続くために これからの「まち」を考える必要があります。

みなさんの住む「まち」には、
道路、住宅、学校、公園、水道、病院といった
生活になくてはならない施設があります。
みなさんが、心地よく便利に暮らすために
「まちづくり」というのは、とても大切な取組です。
将来、私たちの住む北海道は、
少子高齢化により「まちづくり」を行う大人たちが
減ってしまう可能性があります。
そうなったとき、今ある快適で便利な「まち」で
あり続けるために、「まちづくり」の進め方を
もう一度見直してみる必要があります。

Q 「コンパクトシティ」ってなに？

A 「コンパクトシティ」とは みんながまちの中心部に集まって 住むようにしようという考え方です。

例えば、バスや病院、保育園、役所、スーパーなどの
施設もまちなかに集める。
そうすることで、みなさんの移動する距離も短くなり、
暮らしが快適で便利になります。
また、水道やガスなども使う場所がぎゅっと
まとまるので、お金や燃料を節約できます。
人が集まることで、まちなかの空き店舗にも
新しいお店が入るかもしれません。
このようなまちづくりを「コンパクトシティ」と呼んでいます。
イラストのように、施設をまちの中心部に集めたようすを
想像してみてください。



Q 「北の住まいるタウン」ってどんな「まち」なの？

A 北海道では、コンパクトシティの考え方を広めるため、誰もが快適に、安全・安心して暮らせる「北の住まいるタウン」というまちの姿の実現を目指しています。

コンパクトシティという考え方の他に、
太陽光や風力といった再生可能エネルギーの活用、
ドローンやAIといった最新の技術を活用する
アイデアも取り入れています。
わくわくするような「未来のまち」をイメージして、
イラストをつくりました。
将来の「まちの姿」を想像できるでしょうか？

Q 「北の住まいるタウン」の実現のために どんな取り組みがあるの？

A 3つの方向性と「災害に強いまちづくり」を意識しながら、将来にわたって安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

「北の住まいるタウン」は、【コンパクトなまちづくり】、【脱炭素化・資源循環】、【暮らしやすさの向上】という3つの方向性をもとに、【災害に強いまちづくり】を加えて、地域のいろいろな主体（自治体・公共施設・団体など）が協力し合いながら、これから先もずっと、誰もが安心して元気に暮らせるまちをつくっていきます。

＜取組の方向性＞

1 コンパクトなまちづくり

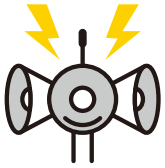
お店、病院、役所などをまちのなかに集めて、便利で快適なまちづくりを進めます。そうすることで誰もが同じサービスを受けることができます。

2 脱炭素化・資源循環

地球を温めるガスをできるだけ出さないようにして、使った物や資源を捨てず、くり返し使うことが大切です。
太陽光、風力、水力など再生可能なエネルギーを活用して、脱炭素に向けたまちづくりを進めます。

3 暮らしやすさの向上

過疎化（住んでいるまちの人が減り続けること）が進んだ地域でも、安心して暮らせるまちづくりを進めます。
医療や教育の充実、地域を支えるコミュニティづくりも行います。



災害に強いまちづくり

大雨や地震などがあっても、安全にみんなが暮らせるまちづくりを進めます。
川や下水道の整備、避難所の確保など、被害を少なくするための準備を行います。

みなさんに聞きたいこと

北海道では、「北の住まいるタウン」という考え方を広めるために、幅広い世代から「まちづくり」に関する意見や希望、将来像などについて、意見を聞いているところです。今回は、ぜひみなさんの声を聞いてみたいと思っています。
みなさんがわくわくするような「まちの姿」を想像しながら、考えてみてください。

Q1

まちの中に、
〇〇があったらいいと
思うものは何ですか?

Q2

まちのなかに人を集めて、
にぎわいをつくるには、
どのようなことをしたらいいですか?